

1999年の本。

「正しく生きる」ことが強調され、道徳や宗教のジャンルに入る本ではないか。随所に「正しい…」が出てくるが、正しさは価値観の違いで簡単に変わるので、普遍性はない。著者の思う「正しい…」に過ぎない。

では、そんな私はどんな人間かと言いますと、私の特性は、第一に物事の本質をとらえたり時代の先行きを洞察するのがほんとうに好きで、**ほとんど外れることがありません**から得意と言っていいと思います。第二に、それらを論理的に考え、整理するのが好きですし、誰もが納得するように説明するのもうまいと思っています。第三に若い頃から髪の毛が薄かったこともあって人を差別しない姿勢が身につき、また人間心理もいや応なくよく勉強したので、たいていの人を気分よくさせる雰囲気は私にはあるようです。第四に、これは特に若い頃はそうだったのですが、負けず嫌いで、勝つための戦略戦術を考えるのが好きだったことで、実際上も**負け知らず**で生きてきました。第五に人に教えるのが大好きで、**上手**なようです。

こんな特性を見ると、経営コンサルタントになるために生まれてきたようなものだ、我が身を振り返って笑ってしまいます。

逆に私にないものや嫌いなことを挙げますと、第一に人に使われたり指図されるのが大嫌い。第二にファッションや観光や芸術といったことに関心がありません。第三に表面的なことを追いかけたり、誰がどうのこうのしたという噂話の類を見聞きするのは好きではありませんし、興味もありません。

自分の特性を6つの観点から明確にする。

1. 自分の性格的な長所
2. 得意なこと
3. 信条
4. これまで楽しかったことやのめり込んだこと
5. やっていて飽きない、苦にならないこと
6. やってみたいとあこがれていること

これらのことを総合して言えば、一つ目の性格や三つ目の信条に適合し、二つ目と四つ目のリストアップにも挙がっていて、五つ目に必ず挙がり六つ目にもリストアップされたものであるならば、ほぼ間違いなく、あなたの特性や使命を表したものとさえそうです。その特性や使命を正しく活かすことが、**あなたの生まれてきた役割**と言っていいようです。